

ちよつと待って

その電話!

詐欺

かも

しれません…



全国で後を絶たない「特殊詐欺」の被害。狭山市内では、今年に入ってから19件(10月末時点)の被害が報告されていて、10月は県内でも最多の被害件数となっています。被害に遭っているのは「自分はだまされないと」思っていた方はかりです。被害に遭わないためにはどうしたら良いか、狭山警察署長に伺いました。



狭山警察署 真野益夫署長

ターゲットは高齢の女性

特殊詐欺の口は年々巧妙化していて、件数は依然として増え続けています。狭山警察署管内の被害者の約8割が女性。80代の方が最も多いです。「自分はだまされないと」思っていた「この言葉は被害者の方がそろって口にされます。過度の自信は禁物です。」

オレオレ詐欺には合言葉を

市内で最も多く被害が報告されている「オレオレ詐欺」は、息子や孫など親族を名乗る者からの電話です。お金をだまし取るこの詐欺の防止に

有効なのは「合言葉」。あらかじめ家族・親族間で決めておくのが良いですね。電話口で「オレだけ」と言われたら、「合言葉は？」と切り出しましょう。その瞬間、犯人は答えられずに電話を切ります。

留守番電話で犯人からの電話をブロック

在宅中でも留守番電話に設定しておくことは、どの詐欺にも有効な対策になります。犯人は迫真の演技であなたをだまそうとする。一旦冷静になるためにも、留守番電話の内容や相手の電話番号を確認してから、知っている相手だけに折り返すことが大切です。

市役所からの電話も疑って

最近では、市役所職員を名乗る還付金詐欺の電話も多数報告されています。市役所などと聞くと、疑わずに手続きをしてしまう方が多いですが、還付金の手続きはATMではできません。また、警察官や銀行員を装って、

キャッシュカードをだまし取る詐欺も横行しています。「市役所」「還付金」「キャッシュカード」というキーワードがあったら、担当の部署や相手の名前を聞き、一度電話を切ってからホームページなどで電話番号を確認したり、ご家族や警察に相談したりしてください。

地域で協力して詐欺を未然に防ぐ

被害防止のためには、地域の協力も欠かせません。コンビニエンスストアには、携帯電話で通話しながら店内のATMを利用している方への声掛けと、警察への通報をお願いします。また、金融機関には、高齢の方が窓口で多額の現金を引き出す際には、使用目的の確認と警察への通報をお願いします。この対策で、今年43件(10月末時点)の被害を未然に防止することができました。

「ホーム」に「迷惑」な連絡を

今後も被害を防止するために全力

特殊詐欺の被害件数

※()内は未遂

発生年	市内	県内
	件数	件数
平成30年	28(1)件	1570(79)件
令和元年	44(7)件	1459(110)件
令和2年	33(1)件	1026(89)件

狭山警察署の取り組み

- 警察官が各家庭を訪問して対面での注意喚起
- 署員考案の特殊詐欺被害防止デザインを掲載したポスターやリーフレットで被害防止を周知



狭山警察署 ホームページ▶



で取り組んでいきますが、犯人の検挙と犯罪の被害防止には、皆さんの備えが必要です。自宅に不審な電話がかかって来たり、不審な人物を見かけたりした場合には、迷わず110番通報を！犯人の検挙と被害防止にご理解・ご協力をお願いします。

詐欺被害に遭わないために!

このキーワードが出てきたら、詐欺かも…?



今すぐに現金が必要

～オレオレ詐欺～

- 通話相手が本人なのか「合言葉」で確認を！
ペットの名前、お子さんやお孫さんのあだ名、思い出の旅行先など、何でも構いません

ポイント!

一度電話を切り、自分が知っている連絡先にかけ直す



市職員から還付金の手続きをATMで

～還付金詐欺～

- 還付金の手続きはATMではできません！

ポイント!

通話しながらATMの操作をしている方がいたら声掛けを



**キャッシュカードを預かる
口座やキャッシュカードの暗証番号を教える**

～キャッシュカードをだまし取る詐欺
キャッシュカードをすり替える詐欺～

- 警察や銀行がキャッシュカードを預かることはありません！
- 暗証番号を尋ねることもありません！

防災無線が合図!

特殊詐欺の電話があなたにも近づいているかも…?

市内に特殊詐欺の電話がかかってきたと警察に通報があった場合には、防災無線やメール配信サービスで注意喚起しています。放送を聞いたりメールを受信したりしたら、自分にも犯人から電話がかかってくるかもしれないと思い、特殊詐欺の手口や対策を思い出してください。

メール配信サービスの登録はこちら▶



問合せ 交通防犯課へ内線3692